

2. 第43回(2018年度)地域安全学会研究発表会(秋季)プログラム

(1) 査読論文の発表者の方へ

- (1) 査読論文(研究発表会論文)は、「査読論文(研究発表会論文)投稿規程」に基づき、投稿・査読に加えて発表会当日の発表及び討論を一体のものとして行うことで、始めて審査付きの論文と見なすことができるものです。必ず、発表、討論への参加をお願いします。
- (2) 発表者の持ち時間は、発表12分、質疑3分の計15分です。
- (3) 本年度も査読論文発表会の際に学術委員会による審査を行い、論文奨励賞を選定します。審査は、論文の新規性、有用性、完成度、発表の態度及び質疑応答の内容等を考慮して行います。なお、2018年度論文賞および優秀論文賞については、地域安全学会論文集 No. 32(電子ジャーナル:2018年3月発行済み)および地域安全学会論文集 No. 33(研究発表会査読論文:2018年11月発行予定)をあわせて審査し、2019年度総会にて受賞者を発表します。
- (4) 研究発表会2日目(11月3日(土))に開催される懇親会において、論文奨励賞の受賞者を発表します。査読論文発表者は可能な限り懇親会への出席をお願いします。

(2) 一般論文(ポスター発表)関係者の方へ

一般論文の発表方法はポスター発表のみとなっております。

- (1) ポスター発表会場:3F 大会議室
- (2) ポスター設営は、11月2日(金)12時00分~17時00分または3日(土)9時40分~となっております。また、ポスター発表の報告時間帯は、3日(土)(2日目のみです)の12時00分~14時15分(コアタイム12時45分~14時15分)となっております。ポスターの撤去は、3日(土)16時30分までに行ってください。ポスター展示用のパネルは幅90cm×高さ180cmの大きさのものを用意します。説明資料は各自画鋏、セロテープなどで貼り付けてください。パソコンなどを置きたい方は、奥行き40cmのテーブルを用意します。その場合、テーブルの高さ約60cm分はパネルのスペースが少なくなります。テーブルの使用の場合は、準備の都合がありますので、事前に下記研究発表会担当まで申し込んでください。なお、電源の延長コード(約5m以上)は各自で用意してください。
- (3) 一般論文発表については、表彰委員会において審査をおこない、優秀発表賞を選定いたします。そのため、コアタイムには必ず発表者がついて説明をおこなってください。なお、研究発表会2日目(11月3日(土))に開催される懇親会において、優秀発表賞の受賞者を発表しますので、一般論文発表者は可能な限り懇親会への出席をお願いします。

その他、疑問点などございましたら、下記研究発表会担当までご連絡ください。

研究発表会担当:常葉大学大学院環境防災研究科 池田浩敬

TEL:0545-37-2107 FAX:0545-37-2127 E-mail: ippan-aki@isss.info

(3) 査読論文発表プログラム

11月2日(金)

開会式 10:50-11:00

第一セッション

司会 澤田 雅浩(兵庫県立大学)

- 11:00 災害時の地域・地区支援拠点による支援構造に関する研究 —2016年熊本地震益城町における避難者支援を事例として—
荒木 裕子(名古屋大学減災連携研究センター)
- 11:15 都市型土砂災害における被災者の再定住地選択の実態とその背景—2014年広島土砂災害の事例—
田中 正人(追手門学院大学)
- 11:30 東日本大震災津波被災者の発災後3年間の住み替え実態の分析
土屋 依子(明治大学)
- 11:45 震災復興と郷土芸能 —ソーシャル・キャピタルの視点から
飯塚 明子(宇都宮大学)

昼食 12:00-13:00

第二セッション 13:00-14:00

司会 佐藤 慶一(専修大学)

- 13:00 東日本大震災の経験に基づく生活支障の定量的評価
佐藤 真吾(東北大学)
- 13:15 生活再建7要素が東日本大震災被災者の生活復興感に与える影響 —震災から5年が経過する中で
の東日本大震災生活復興調査から—
川見 文紀(同志社大学大学院 社会学研究科)
- 13:30 都市システムの自然災害に対する受容力の構造の解明と制御の可能性
塩崎 由人(東京大学)
- 13:45 災害時における財・サービス供給のガバナンス構造の理論的検討
菅野 拓(公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター)

休憩 14:00-14:15

特別セッション 文科省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」 14:15-15:15

司会 越山 健治(関西大学社会安全学部)

- 14:15 南海トラフ巨大地震を想定した西条市の揺れやすさに関する一研究
森 伸一郎(愛媛大学)
- 14:30 東京都特別区消防団を対象とした時間帯別の震災対応力に関する研究 —地震火災時の消火対応
の観点から—
高橋 拓(東京消防庁)
- 14:45 過去の災害対応の経験は継承されたのか・活かされたのか? : 東日本大震災で対応した宮城県職員
を対象にした質的調査結果と提案
佐藤 翔輔(東北大学)
- 15:00 視覚障害のある児童生徒の「生きる力」を向上させる防災教育—栃木県立盲学校での地震防災教
育・訓練の実践—
永田 俊光(宇都宮地方気象台)

休憩 15:15-15:30

第三セッション 15:30-16:30

司会 木村 玲欧 (兵庫県立大学)

- 15:30 なぜ北海道と近畿地方において福島県産品に対する不安感が高いのか—地方紙による議題設定に着目して—
安本 真也 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)
- 15:45 想定首都直下地震後の中長期的な広域避難の需要予測モデル
佐藤 慶一 (専修大学ネットワーク情報学部)
- 16:00 地震による直接被害額のリアルタイム状況把握技術-2016年熊本地震をケーススタディとして-
崔 青林 (防災科学技術研究所)
- 16:15 南海トラフ巨大地震時における災害廃棄物処理に係る災害対応リソース
平山 修久 (名古屋大学)

11月3日(土)

第四セッション 9:30-10:30

司会 佐藤 翔輔 (東北大学)

- 09:30 2016年糸魚川市大規模火災初期の出火現場付近における風速の推定
篠原 雅彦 (消防研究センター)
- 09:45 地震火災における延焼予測のばらつきに対して安全な避難経路の最適化—不完全情報下におけるリアルタイム避難誘導のための提案—
鈴木 雄太 (筑波大学大学院システム情報工学研究科都市防災研究室)
- 10:00 河川氾濫水害に際した住民の避難意思決定要因の構造分析
田中 皓介 (独立行政法人都市再生機構)
- 10:15 漁村集落における低未利用地活用による津波避難安全性向上効果に関する研究-沼津市戸田地区を対象として-
安藤 裕 (パシフィックコンサルタンツ(株))

休憩 10:30-10:45

第五セッション 10:45-12:00

司会 村上 正浩 (工学院大学)

- 10:45 2017年7月九州北部豪雨における福祉施設の避難行動と今後の情報活用に対する考察
波多野 頼子 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
- 11:00 自治体における避難行動要支援者名簿の共有・活用の現状とその分析
高橋 和行 (早稲田大学大学院 人間科学研究科)
- 11:15 プライバシー空間確保を目的とした紙管間仕切と避難所生活環境—平成28年熊本地震での集約避難所運営を通して—
平木 繁 (首都大学東京大学院)
- 11:30 避難勧告等の伝達における情報共有基盤システムの有用性と課題—Lアラート利用情報伝達事業者への調査結果から—
宇田川 真之 (東京大学大学院情報学環)
- 11:45 平常時から緊急時までのシームレスな利用を考慮した自治体向け災害情報共有システムの提案
栗林 大輔 (国立研究開発法人 土木研究所)

昼食・ポスターセッション 12:00-14:15

休憩 14:15-14:30

第六セッション 14:30-15:30

司会 三浦 弘之 (広島大学)

- 14:30 地震時の木造建物崩壊過程における人的被害発生機構の推定
松本 将武 (清水建設株式会社)
- 14:45 地震時の管内水圧変化に伴う空気弁の被害分析と実験による管内水圧挙動の検証
玉瀬 充康 (金沢大学大学院自然科学研究科)
- 15:00 鋼製飛翔体の中速度衝突を受けるコンクリート版の衝撃応答解析に対する改良版個別要素法の適用性
古川 愛子 (京都大学大学院工学研究科)
- 15:15 スマートフォンを用いた路面平坦性評価手法の自治体職員による道路パトロールへの適用
丸山 喜久 (千葉大学)

休憩 15:30-15:45

第七セッション 15:45-16:45

司会 関谷 直也 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)

- 15:45 災害対応コンピテンシー・プロファイル検査紙による自治体職員向け災害対策専門研修事業のインパクト評価
辻岡 綾 (公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター)
- 16:00 熊本地震の緊急・応急対応期における応援自治体のライフヒストリから見た応援活動に係る課題抽出 — 神戸市からの職員派遣の事例から —
本庄 雄一 (兵庫県立大学)
- 16:15 生徒が主体的に取り組む「避難所運営訓練」によって「生きる力」を育む体験的防災教育プログラムの提案 — 宮城県南三陸町立志津川中学校での試み —
佐藤 公治 (南三陸町立歌津中学校)
- 16:30 災害を生きる力へのポジティブ心理学的アプローチ — 感謝特性との関係に関する検討 —
本多 明生 (静岡理科大学)

終了 17:00

18:00 懇親会 (論文奨励賞の発表)